

2005年度 大学院生研究活動記録

* 記載の仕方が一様ではないが、院生の提出した記載の仕方によっているものである。

行動学系 回答者: 50名(内: 活動有: 42、活動無: 8) 回答率: 61.0%
 在籍者 80名(内: 休退学10)+研究生2

指導教員	三浦 利章	副指導教員	篠原一光			
氏名	岡 耕平	研究室名	適応認知行動学	学年	DC 2	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所等報告	知的障害者の注意機能研究の動向	岡耕平・三浦利章	印刷中	大阪大学大学院人間科学研究科紀要, 32, ##		
学会発表	手技作業遂行時の知的障害者の眼球運動および動作解析	岡耕平・三浦利章	2005年11月19日	関西心理学会第117回大会発表論文集 77.		
大学・研究所等報告	簡便で汎用性のある知的障害者の作業支援法	岡耕平・三浦利章	2005年7月14日	信学技報, 105, No.186, 57-60.		

指導教員	三浦 利章	副指導教員	篠原一光			
氏名	高原 美和	研究室名	適応認知行動学	学年	DC 2	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	複数呈示パラダイムによる言語陰蔽効果の検討	北神慎司・高原美和	2005年9月10日	日本心理学会第69回大会論文集, 819		
学会発表	課題非関連なオンセット妨害刺激が注意移動に及ぼす影響	高原美和・木村貴彦・篠原一光・三浦利章	2005年9月11日	日本心理学会第69回大会論文集, 707		
科研報告	注意制御機構における加齢変化の検討: 抑制機能を中心として	三浦利章・篠原一光・木村貴彦・高原美和	2005年12月27日	文部科学省科学研究費補助金「特定領域研究」障害者・高齢者のコミュニケーション機能に関する基礎的研究 2005年度第2回成果報告会資料, 77-82		
大学・研究所等報告	外発的・内発的注意制御とその加齢効果	高原美和・篠原一光	(印刷中)	人間科学研究科紀要第33巻		

指導教員	三浦 利章	副指導教員	篠原一光			
氏名	内藤 宏	研究室名	適応認知行動学	学年	DC 2	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	視覚的注意の移動がリーチング動作に及ぼす影響	内藤宏・三浦利章	2005年5月29日	日本認知心理学会第3回大会発表論文集 138		
学会発表	リーチング動作の運動方向が視覚的注意に及ぼす効果	内藤宏・三浦利章	2005年6月19日	第40回人類動態学会講演集 36		
学会発表	リーチング動作が注意の移動に及ぼす影響	内藤宏・三浦利章	2005年9月11日	日本心理学会第69回大会発表論文集, 701		
大学・研究所等報告	視覚的注意における能動的動作の重要性	内藤宏・木村貴彦・三浦利章	2006年3月	大阪大学大学院人間科学研究科紀要第32巻(印刷中)		
シンポジウム発表	Allocation of the resource of attention during reaching movements	Hiroshi Naito, Toshiaki Miura, Takahiko Kimura, & Kazumitsu Shinohara	2006年3月6日	3rd International Symposium of Systems & Human Science: Complex Systems Approaches for Safety, Security & Reliability.(学会名; 論文が掲載される書籍の名前は分かりません)		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2005.6	内藤宏	人類動態学会発表賞	人類動態学会

指導教員	三浦利章	副指導教員	篠原一光			
氏名	駒田悠一	研究室名	適応認知行動学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	「分割注意状況における方向変化検出」	駒田悠一・篠原一光・木村貴彦・三浦利章	2005年5月29日	第3回 認知心理学会		
学会発表	「方向変化検出における注意の効果」	駒田悠一・篠原一光・木村貴彦・三浦利章	2005年9月11日	日本心理学会第69回大会発表論文集		
学会発表	「車載機器からの視覚情報処理に伴う認知的負荷と運転場面の危険事態検出」	篠原一光・駒田悠一・木村貴彦・三浦利章・古暮雅郎 山本敏雅	2005年9月28日	自動車技術会 2005年秋季大会		

指導教員	大坊郁夫	副指導教員	釘原直樹	中村敏枝			
氏名	磯友輝子	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 3	年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名			
分担執筆	第3章 3者間会話場面における非言語的行動の果たす役割	磯友輝子・木村昌紀・大坊郁夫	2005年8月1日	大坊郁夫編著 社会的スキル向上を目指す対人コミュニケーション ナカニシヤ出版 Pp.31-86.			
学術論文	「話の上手さ」認知の社会的スキルと状況による相違	磯友輝子・大坊郁夫	2005年9月28日	電子情報通信学会技術研究報告, HCS2005-28, 1-6.			
学会発表	The effects of expectancy of an ongoing relationship on interpersonal communication.	Masanori Kimura, Yukiko Iso, & Ikuo Daibo	2005年4月3日	Asian Association of Social Psychology, 6th Biennial Conference 2005 (AASP2005) (The University of Wellington, New Zealand) Program, 83.			
学会発表	3者間会話場面における非言語的行動の役割	磯友輝子・大坊郁夫	2005年6月18日	日本コミュニケーション学会第35回年次大会プログラム, 16.			
学会発表	社会的スキルと「話の上手特徴」の認知	磯友輝子・大坊郁夫	2005年9月27日	日本社会心理学会第46回大会発表論文集, 578-579.			

指導教員	大坊郁夫	副指導教員	釘原直樹			
氏名	藤本学	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	Endcores: Developing a hierarchical scale of communication skills	Manabu Fujimoto, Aya Murayama, Ikuo Daibo	2005年4月	Asian Association of Social Psychology 6th Biennial Conference		
分担執筆	会話状況に応じた発話行動	藤本学・村山綾・大坊郁夫	2005年8月1日	大坊郁夫編 社会的スキル向上を目指す対人コミュニケーション、ナカニシヤ出版 P87-117		
学会発表	会話スタイル尺度の開発:小集団コミュニケーションにおける話者の会話行動傾向を予測するために	藤本学・大坊郁夫	2005年9月	日本心理学会第69回大会発表論文集 p235		
学会発表	ソシオプロフィール法の中規模集団への適用にむけて:学級集団のソシオメトリック構造を特定するために	藤本学	2005年9月	日本教育心理学会第47回大会発表論文集 p585		
学会発表	5人集団における集団討議における話者役割:個人特性およびリーダーシップ行動との関連性	藤本学・大坊郁夫	2005年9月	日本社会心理学会第46回大会発表論文集 p22-23		
学術論文	同輩集団のソシオメトリック構造とコミュニケーション構造の推移(2):コミュニケーション行動に及ぼす個人特性の影響	藤本学・大坊郁夫	2005年9月	電子情報通信学会技術報告, vol.105, No.306, p7-12		
学会発表	小集団会話における話者の発言傾向を規定する3要素	藤本学・大坊郁夫	2006年3月	社会言語科学会第17回大会発表論文集(予定)		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2005	藤本学	教育・研究助成	大阪大学後援会

指導教員	大坊郁夫	副指導教員	釘原直樹	中村敏枝	
氏名	木村昌紀	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 2 年次
分担執筆	第3章 3者間会話場面における非言語的行動の果たす役割	磯友輝子・木村昌紀・大坊郁夫	2005年8月1日	大坊郁夫編著 社会的スキル向上を目指す対人コミュニケーション ナカニシヤ出版 Pp.31-86.	
学術論文	Interactional synchrony in conversations about emotional episodes: a measurement by between-participants pseudosynchrony experimental paradigm	Masanori Kimura & Ikuo Daibo	in press	Journal of Nonverbal Behavior	
学術論文	ジェスチャー頻度と認知スタイル(言語化-視覚化)の関係	荒川歩・木村昌紀	2005年8月1日	認知心理学研究, 3, 95-102	
学会発表	The effects of expectancy of an ongoing relationship on interpersonal communication.	Masanori Kimura, Yukiko Iso, & Ikuo Daibo	2005年4月3日	Asian Association of Social Psychology, 6th Biennial Conference 2005 (AASP2005) (The University of Wellington, New Zealand) Program, 83.	
学会発表	The study of emotional contagion from the perspective of interpersonal relationship	Masanori Kimura & Ikuo Daibo	2006年1月27日	The 7th annual conference of Society for Personality and Social Psychology, Palm Springs, California, Japan	
学会発表	身体を通して共有される時間/空間: インターパーソナル・シンクロニー研究の現在.	荒川歩・木村昌紀・高橋秀明・関根和生・長岡千賀・伝康晴・古山宣洋・齋藤洋典	2005年9月12日	企画・話題提供者 日本心理学会第69回大会発表論文集, p67, 慶応義塾大学	
学会発表	関係性の観点から情動伝染を捉える	木村昌紀・大坊郁夫	2005年9月24日	日本社会心理学会第46回大会発表論文集. p.536-537. 関西学院大学	

指導教員	大坊郁夫	副指導教員	釘原直樹		
氏名	村山綾	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 2 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
学会発表	ENDCOREs: Developing a hierarchical scale of communication skills	藤本学・村山綾・大坊郁夫	2005年4月5日	Asian Association of Social Psychology 6th Biennial Conference	
分担執筆	会話に応じた発話行動	藤本学・村山綾・大坊郁夫	2005年8月1日	社会的スキル向上を目指す対人コミュニケーション, ナカニシヤ出版 Pp.87-116	
学会発表	2重考慮モデルによる葛藤対処スタイルの測定-議論性・コミュニケーション志向性との関連-	村山綾・大坊郁夫	2005年9月12日	日本心理学会第69回大会発表論文集, 236	
学会発表	組織内における葛藤の分離-対処スタイル,上司のリーダーシップスタイルと集団内葛藤との関連-	村山綾・大坊郁夫	2005年9月24日	日本社会心理学会第46回大会発表論文集, 16-17	
学会発表	Do Japanese workers differentiate task conflict from relationship conflict? -The relationships among resolution styles, leadership behavior, and intragroup conflict-	村山綾・大坊郁夫	2006年1月27日	Society for Personality and Social Psychology 7th Annual Conference, 159	

指導教員	大坊郁夫	副指導教員	釘原直樹			
氏名	毛 新華	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 2	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	中国の若者の社会的スキルに関する研究(1)—自由記述調査と予備的尺度構成の試み—	毛新華・大坊郁夫	2005年9月11日	日本心理学会第69回大会発表論文集 162.		
学会発表	中国の若者の社会的スキルに関する研究(2)—中国版社会的スキル尺度の構成—	毛新華・大坊郁夫	2005年9月24日	日本社会心理学会第46回大会発表論文集 382-383..		
学会発表	中国と日本の大学生の社会的スキルの比較	毛新華	2005年11月3日	日本パーソナリティ心理学会第14回大会発表論文集 23-24.		
大学・研究所等報告	中国の若者の人づきあいスタイルについての研究—自由記述調査結果によるカテゴリーカルな検討—	毛新華・大坊郁夫	2006年3月30日	対人社会心理学研究, 6,81-88.		

指導教員	大坊郁夫	副指導教員	釘原直樹			
氏名	上出寛子	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 1	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	Effects of deliberative and implemental mindsets on enhancement of important aspects of selves	KAMIDE Hiroko & DAIBO Ikuo	2005年4月3日	Asian Association of Social Psychology 6th Biennial Conference		
学会発表	対人的自己の多様性が精神的健康に与える影響	上出寛子・大坊郁夫	2005年9月24日	日本社会心理学会第46回大会発表論文集、54-55.		
学術論文	韓国人の顔面表情時の顔形態特徴と社会的スキルとの関係	上出寛子・大坊郁夫・趙鏞珍・高橋直樹	2005年11月3日	電子情報通信学会技術研究報告,105, 33-38.		
学術論文	顔面表情に伴う顔形態特徴の3次元的測定—韓国人大学生の場合—	大坊郁夫・上出寛子・趙鏞珍・高橋直樹	2005年11月3日	電子情報通信学会技術研究報告,105, 27-32.		
大学・研究所等報告	自分にとって重要な側面におけるマインド・セットの効果	上出寛子・大坊郁夫	2006年3月30日	対人社会心理学研究, 6, 49-56.		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2005.9	上出寛子	日本社会心理学会院生海外発表補助金	日本社会心理学会

指導教員	大坊郁夫	副指導教員	釘原直樹			
氏名	清水裕士	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	テキストマイニングを用いた心理学分析の応用例—異性関係の印象の分析—	清水裕士・小杉考司	2005年7月20日	藤井美和・小杉考司・李政元編著 福祉・心理・看護のテキストマイニング入門 中央法規, Pp.116-132.		
学会発表	ペアデータに基づく熟年夫婦の研究(1)～夫婦のコミュニケーションパターンと関係性の関連～	清水裕士・石盛真徳・金政祐司・三浦麻子・谷口淳一・小林知博	2006年9月10日	日本心理学会第69回大会発表論文集, 142.		
学会発表	ペアデータに基づく熟年夫婦の研究(2)～愛情の3要素とコミュニケーション態度が夫婦関係の満足に及ぼす影響～	金政祐司・三浦麻子・谷口淳一・小林知博・清水裕士・石盛真徳	2006年9月10日	日本心理学会第69回大会発表論文集, 143.		
学会発表	ペアデータに基づく熟年夫婦の研究(3)～夫婦間の自己呈示と夫婦関係の満足度の関連性～	谷口淳一・小林知博・清水裕士・石盛真徳・金政祐司・三浦麻子	2005年9月10日	日本心理学会第69回大会発表論文集, 144.		
学会発表	恋愛関係における場の研究	清水裕士・大坊郁夫	2005年9月24日	日本社会心理学会第46回大会発表論文集, 74-75.		
学会発表	Quality of relationships as social concept: The effect of dyadic-level interaction pattern on romantic relationships.	SHIMIZU, Hiroshi & DAIBO, Ikuo	2006年1月27日	The 7th annual meeting of the Society for Personality and Social Psychology, Palm Springs, CA.		
大学・研究所等報告	ペア・集団データにおける階層性の分析	清水裕士	2006年3月30日	対人社会心理学研究, 6, 89-99.		

指導教員	大坊郁夫					
氏名	村上幸史	研究室名	対人社会心理学	学年	研究生	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	「運の減少感」が生じる時点	村上 幸史	2005年9月12日	第69回日本心理学会大会発表論文集, 1046.		
学会発表	「運の強さ」と判断の相対性	村上 幸史	2005年9月23日	第46回日本社会心理学会大会発表論文集, 642-643.		
学術論文	占いの予言が「的中する」とき	村上 幸史	2005年11月30日	社会心理学研究, 21, 2, 133-146.		
学術論文	「運を消費する」という物語	村上 幸史	2006年3月31日	質的心理学研究, 5, (印刷中).		

指導教員	釘原直樹	副指導教員	大坊郁夫			
氏名	高田亮	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	他者接近場面におけるシャイネスと回避反応に関する実験的研究	高田亮・釘原直樹	2005年8月1日	日本社会心理学会第46回大会発表論文集 282-283		

指導教員	藤田綾子	副指導教員	恒藤 暁			
氏名	森田 敬史	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	高齢者のlocus of controlに関する日中比較研究—スピリチュアリティについての探索的試み—	森田敬史・王健・大橋陽・船原徹雄・安部幸志・恒藤暁・藤田綾子	2005年6月17日	第47回日本老年社会科学学会大会報告要旨号223.		
学会発表	実態調査からみた僧侶(仏教)による遺族支援の現状	森田敬史・瀬良信勝・坂口幸弘・赤澤正人・岡本双美子・黒川雅代子・西牧真里・恒藤暁	2005年11月13日	第29回日本死の臨床研究会プログラム・予稿集 281.		
学会発表	死別を体験した児童・生徒への支援—養護教諭を対象としたアンケート調査から—	赤澤正人・西牧真里・坂口幸弘・岡本双美子・黒川雅代子・瀬良信勝・森田敬史・恒藤暁	2005年11月12日	第29回日本死の臨床研究会プログラム・予稿集 232.		
学会発表	在宅ケアにおける遺族支援に関する研究(1)—訪問看護ステーションに勤務する看護師を対象として—	岡本双美子・黒川雅代子・赤澤正人・坂口幸弘・瀬良信勝・西牧真里・森田敬史・恒藤暁	2005年11月13日	第29回日本死の臨床研究会プログラム・予稿集 270.		
学会発表	在宅ケアにおける遺族支援に関する研究(2)—訪問看護ステーションに勤務する看護師を対象として—	黒川雅代子・岡本双美子・赤澤正人・坂口幸弘・瀬良信勝・西牧真里・森田敬史・恒藤暁	2005年11月13日	第29回日本死の臨床研究会プログラム・予稿集 270.		

指導教員	藤田綾子	副指導教員	恒藤 暁			
氏名	尾崎勝彦	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学術論文	天体観望会による情動変化	尾崎勝彦	2006年3月25日	天文教育18(2)		
学会発表	森林散策により情動変化の見られた2、3の事例	尾崎勝彦 平井 啓 恒藤 暁 藤田綾子	2005年3月27日	第116回日本森林学会大会講演要旨集3B16		
学会発表	自然観の構成と尺度化の試み	尾崎勝彦 平井 啓 恒藤 暁 藤田綾子	2005年8月4日	日本理科教育学会第55回全国大会論文集、223		
学会発表	観望会による情動変化	尾崎勝彦	2005年11月25日	第19回天文教育研究会収録、106-111		
大学・研究所等報告	死に関する情報を含む映像に接した際の情動変化に関する要因	尾崎勝彦	2005年10月30日	生老病死の行動科学、10、23-33		

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2005.9	尾崎勝彦	おもしろ天文学 星を見ると気分が良くなる? 第19回天文教育研究会(2005.7.31~8.2)発表の内容「観望会による情動変化」を一般読者向けに書き直したものを。	宇宙NOW、No186、4-5

指導教員	藤田綾子	副指導教員	恒藤 暁			
氏名	渡邊美那子(新姓出野)	研究室名	臨床死生学	学年	DC	4 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
研修会発表(臨床心理士協会認定研修会)	性的な外傷体験を持つ女兒のプレイセラピー	出野美那子	2005年6月5日	第4回児童養護施設の心理職のための研修会分科会2		

指導教員	藤田綾子	副指導教員	恒藤 暁			
氏名	赤澤正人	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC	2 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学術論文	一般成人を対象としたデス・エデュケーションに関する意識調査～学校現場で生と死を教えることについて～	赤澤正人・坂口幸弘・中西健二・松城里香・谷荘吉	2005年4月20日	ホスピスケアと在宅ケア 13(1), p23-27		
学術論文	学校現場におけるデス・エデュケーションの実践内容	赤澤正人	2005年9月30日	生老病死の行動科学 10 p35-46 2005		
分担執筆	学校現場での生と死の教育の展開	赤澤正人	2005年9月1日	死の臨床の教育 死の臨床. 28(1), p35-36. 2005		
学会発表	児童の「死」のイメージに関する調査	赤澤正人・平井啓・恒藤暁・藤田綾子	2005年9月11日	第69回日本心理学会 神奈川 2005		
学会発表	デス・エデュケーションの実践にあたっての課題－実践者への面接調査を用いた探索的検討－	赤澤正人・平井啓・恒藤暁・藤田綾子	2005年9月18日	第47回日本教育心理学会 北海道 2005		
学会発表	学校現場における遺族支援の現状と課題	赤澤正人・西牧真理・坂口幸弘・恒藤暁	2005年11月12日	第29回日本死の臨床研究会 山口 2005		
研究報告	児童・生徒の死生観についての意識調査	高木慶子・近藤靖宏・原実男・西本義之・山下文夫・伊藤博・赤澤正人	2005年9月1日	(財)21世紀ヒューマンケア研究機構平成16年度助成研究報告 2005		

指導教員	藤田綾子	副指導教員	恒藤 暁			
氏名	本多 妙	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC	2 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所等報告	大学生の喫煙行動に影響を与える要因の検討	本多妙・福島倫子	2005年10月30日	生老病死の行動科学, 10, 47-59.		

指導教員	藤田綾子	副指導教員	恒藤 暁			
氏名	中原 純	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC	2 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所等報告	高齢者のボランティア活動に関する研究の動向	中原 純	2005年10月30日	生老病死の行動科学, 10, 147-155.		
大学・研究所等報告	女子大学生はなぜダイエットをするのか?(1)	中原 純・林知世	2005年10月30日	生老病死の行動科学, 10, 71-85.		
大学・研究所等報告	女子大学生はなぜダイエットをするのか?(2)	林 知世・中原純	2005年10月30日	生老病死の行動科学, 10, 87-100.		

指導教員	藤田綾子	副指導教員	恒藤 暁			
氏名	古村 和恵	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所等報告	大学生における健康食品摂取行動の規定要因について:計画的行動理論の適用	古村和恵・荒井龍淳・原田和弘	2005年10月30日	生老病死の行動科学 第10巻		
学術論文	The appraisal of positive life changes following cancer diagnosis: An interview study	Kazue Komura & John R. Hegarty	in press	Palliative and Supportive Care		

指導教員	藤田綾子	副指導教員	恒藤 暁			
氏名	太田夏来	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所等報告	決定バランスが大学生の健康的食行動に与える影響	藤原篤史・奥中美帆・太田夏来	2005年10月30日	生老病死の行動科学		

指導教員	藤田綾子	副指導教員	恒藤 暁			
氏名	駒井 健太郎	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所報告	死と自殺の概念発達と定義	駒井健太郎	2005年10月30日	生老病死の行動科学, 10, 157-164.		

指導教員	藤田綾子	副指導教員	恒藤 暁			
氏名	長塚美和	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
論文	看護学生の達成動機と就業動機との関連	長塚美和	2005年10月30日	生老病死の行動科学, 第10巻, 111-122.		

指導教員	藤田綾子	副指導教員	恒藤 暁			
氏名	枝 さゆり	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
論文	救急看護師のSense of Coherenceとバーンアウト	枝 さゆり	2005年10月30日	生老病死の行動科学、10,101-110.		
学会発表	救急看護師のSense of Coherenceとバーンアウト	枝 さゆり・辰巳有紀子	2005年10月14日	第7回日本救急看護学会学術集会		
学会発表	救急看護師のストレス分類(3)―「人間関係」・「後輩指導」ストレスの内容―	枝 さゆり・辰巳有紀子・北島由喜	2006年3月2日	第33回日本集中治療医学会学術集会		

指導教員	藤田綾子	副指導教員	恒藤 暁			
氏名	上野大介	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	大学生のトラウマ反応の回復に個人の認知特性およびコーピングが及ぼす影響	上野大介・佐藤健二	2005年12月9日	第5回日本認知療法学会大会論文集 p115		

指導教員	藤田綾子	副指導教員	恒藤 暁			
氏名	久保尚子	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	高齢者の予防的健康行動に及ぼす社会的認知要因の影響	久保尚子	2005年9月1日	日本健康心理学会第18回大会 日本心理医療所学会連合第18回学術大会 合同大会発表論文集 3.		

指導教員	桑野園子	副指導教員	青野正二				
氏名	豊島久美子	研究室名	環境心理学	学年	DC 3	年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名			
学術論文	音楽聴取がホルモン変動に及ぼす影響—嗜好と経時変化を中心に	福井一・豊島久美子・久田清人	2005年6月	日本音楽療法学会誌Vol.5(1), 39-47.			
学術論文	香りが人体に及ぼす影響—内分泌学的研究—	福井一・駒木亮一・奥井美保・豊島久美子・久田清人	2005年8月	Aroma research, No.23 Vol.6(3), 54-59.			
学術論文	香りがヒトに及ぼす影響:行動内分泌学的研究	福井一・駒木亮一・奥井美保・豊島久美子・久田清人	2005年12月	BIOINDUSTRY, Vol.22(12), 5-9.			
学会発表(国内)	リズムパターンに対する嗜好	豊島久美子・桑野園子・福井一	2005年5月	平成17年度音楽知覚認知学会春期研究発表会(東京)			
学会発表(国内)	精神遅滞者への音楽療法効果の検証—作業療法との比較を通して	福井一・豊島久美子・久田清人	2005年9月	日本音楽療法学会第5回学術大会(名古屋)			
学会発表(国内)	音楽的情動とリズム及び音色	豊島久美子・桑野園子・福井一	2005年11月	平成17年度音楽知覚認知学会秋期研究発表会(京都)			
学会発表(国際)	The effect of music listening to endocrine hormone from a viewpoint of interval change and music taste.	福井一・豊島久美子・久田清人	2005年5月	THE NEURO SCIENCE AND MUSIC - II (Germany, Leipzig).			
学会発表(国際)	The effect of odor on female - endocrinological and psychological study.	福井一・豊島久美子・久田清人	2005年6月	The Human Behavior and Evolution Society (HBES) Conference, (Texas, Austin).			

指導教員	桑野園子	副指導教員	青野正二				
氏名	高辻有紀	研究室名	環境心理学	学年	MC 2	年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名			
研究会発表	2音の時間差と拍子の体制化	高辻有紀・桑野園子・難波精一郎	2005年12月15日	日本音響学会関西支部第8回若手研究者交流研究発表会発表資料			
学会発表	重なる2音の時間差と拍子の体制化	高辻有紀・桑野園子・難波精一郎	2006年3月16日	日本音響学会2006年春季研究発表会論文集			

指導教員	臼井伸之介	副指導教員	中村敏枝				
氏名	中井 宏	研究室名	リスク人間科学	学年	MC 1	年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名			
学術論文	ドライバー特性から見たリスクテイキング行動と運転技能の自己評価に関する研究	中井宏・臼井伸之介		応用心理学研究(投稿中)			
学会発表	T字型交差点におけるドライバーのリスクテイキングに関する研究	中井宏・臼井伸之介	2005年9月3日	応用心理学学会第72回大会発表論文集 75			
学会発表	運転技能の自己評価と運転歴に関する調査	中井宏・臼井伸之介	2005年11月19日	関西心理学会第117回大会発表論文集 68			
学会発表	リスクテイキング傾向の個人内一貫性に関する研究	中井宏・臼井伸之介	2005年12月12日	大阪交通科学研究会平成17年度学術研究発表会講演論文集 11-12			

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2005.11	中井 宏	研究奨励賞	関西心理学会
2005.12	中井 宏	大阪交通科学研究会 研究助成	大阪交通科学研究会

指導教員	臼井伸之介				
氏名	松本友一郎	研究室名	リスク人間科学	学年	研究生
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
学会発表	上司との付き合いに関する部下の心理的反応—上司-部下の相互評価が部下の心理的ストレスに及ぼす影響—	松本友一郎	2005年9月19日	産業・組織心理学会第21回大会発表論文集 119-122.	
学会発表	上位者-下位者の相互評価が下位者の心理的ストレスに及ぼす影響—学生アルバイト従業員を対象とした検討—	松本友一郎・釘原直樹	2005年9月24日	日本社会心理学会第46回大会発表論文集 428-429.	
学会発表	上司-部下の相互評価が部下の心理的ストレス反応に及ぼす影響—医療系対人援助職を対象とした検討—	松本友一郎	2005年11月19日	関西心理学会第117回大会発表論文集 74.	

指導教員	日野林俊彦	副指導教員	南 徹弘	中道正之	
氏名	岸本 健	研究室名	比較発達心理学	学年	DC 1 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
学会発表	Do infants' pointing gestures provoke adults to comment?	岸本 健・志澤康弘・日野林俊彦・南 徹弘	2005年6月1日	Second international workshop on Evolutionary Cognitive Sciences "In Pursuit of Language-Brain Interactions: Language Acquisition, Sentence Processing, and Neurolinguistics"	
学会発表	1歳齢保育園児の指さし行動に対する保育者の言語的応答性	岸本 健・志澤康弘・日野林俊彦・南 徹弘	2005年9月10日	日本心理学会第70回大会発表論文集Pp. 1182	
学会発表	Infants know that their pointing gestures can provoke adults to comment.	岸本 健・志澤康弘・日野林俊彦・南 徹弘	2005年10月22日	The 3rd International Workshop for Young Psychologists on Evolution and Development of Cognition	
学会発表	The co-occurrence of vocalization and pointing in infants	岸本 健・志澤康弘・日野林俊彦・南 徹弘	2006年3月9日	Third international workshop on Evolutionary Cognitive Sciences "Social Cognition: Evolution, Development and Mechanism"	
学会発表	幼児の指さし行動に聴衆効果は存在するか?	岸本 健・志澤康弘・日野林俊彦・南 徹弘	2006年3月20日	発達心理学会第17回大会	

指導教員	日野林俊彦	副指導教員	南 徹弘	中道正之	
氏名	伊藤 美保	研究室名	比較発達心理学	学年	MC 2 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
学会発表	食事場面における乳幼児の音声と母親の反応	志澤康弘, 伊藤美保, 日野林俊彦, 南徹弘	2005年9月11日	日本心理学会第69回大会発表論文集 1178.	
学会発表	離乳期における食行動の発達	伊藤 美保	2005年9月15日	日本公衆衛生学会雑誌, 第64回公衆衛生学会抄録集, 52, 8, 653.	
学会発表	食事場面における離乳期乳児と母親の相互交渉	伊藤 美保・安田 純・日野林俊彦・南 徹弘	2006年3月21日	日本発達心理学会第17回大会	

指導教員	日野林俊彦	副指導教員	南 徹弘	中道正之	
氏名	山川咲子	研究室名	比較発達心理学	学年	MC 1 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
その他	大学院GP(大学院生フィールドワーク支援基金)		2005年12月16日		

指導教員	中道 正之	副指導教員	南 徹弘	日野林俊彦		
氏名	山田一憲	研究室名	比較発達心理学	学年	DC 2	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学術論文	Grooming relationships of adolescent orphans in a free-ranging group of Japanese macaques (<i>Macaca fuscata</i>) at Katsuyama: A comparison among orphans with sisters, orphans without sisters, and females with a surviving mother.	K. YAMADA, M. NAKAMICHI, Y. SHIZAWA, J. YASUDA, S. IMAKAWA, T. HINOYASHI, & T. MINAMI	2005年4月	Primates 46: 145-150, 2005.		
学会発表	ニホンザルにおける群れ外オスによる子殺し	山田一憲・中道正之	2005年7月2日	霊長類研究, 21(増補版), 2.		
学会発表	Grooming relationships of adolescent females in a free-ranging group of Japanese macaques (<i>Macaca fuscata</i>): A comparison among orphans with sisters, orphans without sisters, and females with a surviving mother.	K. YAMADA & M. NAKAMICHI	2005年7月29日	Kyoto Conference: Delphinid and Primate Social Ecology		
学会発表	Infanticide by a non-resident male in a free-ranging provisioned group of Japanese monkeys (<i>Macaca fuscata</i>).	K. YAMADA & M. NAKAMICHI	2005年8月1日	The 9 TH International Mammalogical Congress (IMC9)		
学会発表	母親との親密さは思春期の娘の社会化に影響するか? -ニホンザルの場合-	山田一憲・中道正之	2005年9月10日	第69回日本心理学会大会発表論文集 1165.		
学術論文	書評: デイビッド・スプレイグ著『サルの生涯、ヒトの生涯』	山田一憲	2005年12月31日	霊長類研究, 21, 141-142.		

指導教員	中道 正之	副指導教員	南 徹弘	日野林俊彦		
氏名	大西 賢治	研究室名	比較発達心理学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	勝山ニホンザル集団における母ザルの子ザルに対する視覚的探索行動	大西 賢治・山田一憲・中道正之・南 徹弘・日野林 俊彦	2005年7月1日	第21回日本霊長類学会大会プログラム・発表抄録集 霊長類研究,21,s1-2.		
学会発表	ニホンザルの母ザルはどのように子ザルを見ているか-勝山ニホンザル集団の場合-	大西 賢治・中道正之・南 徹弘・日野林 俊彦	2005年11月18日	SAGA8 SYMPOSIUM : ARTS & APES		

指導教員	狩野 裕	副指導教員	足立 浩平			
氏名	兼清 道雄	研究室名	行動データ科学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	混合モデルにおける固定効果の検定~小標本の場合~	兼清道雄	2005年8月7日	統計サマーセミナー2005		

指導教員	狩野 裕	副指導教員	足立 浩平			
氏名	松田淑美	研究室名	行動データ科学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	高次因子分析モデルと階層因子分析モデルについて	松田淑美・狩野裕	2005年8月28日	日本行動計量学会第33回大会発表論文抄録集, 234-235.		

指導教員	足立 浩平	副指導教員	狩野 裕				
氏名	森 文治	研究室名	行動データ科学	学年	MC	1	年次
論文分類	論文題目/書名		著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	大学生の非行のメカニズム-SEMを用いて-		森文治・宮本友介	2005年8月29日	日本行動計量学会第33回大会発表論文抄録集 320-323.		
大学・研究所等報告	SEMを用いた大学生の非行のメカニズムの解明の示唆		森文治	2005年8月8日	統計サマーセミナー2005 ポスター発表		

指導教員	熊倉博雄	副指導教員	中野良彦				
氏名	日暮 泰男	研究室名	行動形態学	学年	MC	1	年次
論文分類	論文題目/書名		著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	酸素消費量からみた靭の保持方法における差異		中野良彦・森拓洋・日暮泰男・熊倉博雄	2005年6月18日	人類動態学会第40回大会論文集 41		
学会発表	原猿3種の肩関節筋における筋紡錘数		日暮泰男・谷口雪・熊倉博雄	2005年11月4日	日本人類学会第59回大会論文集 88		

指導教員	熊倉博雄	副指導教員	生田香明				
氏名	岡本孝信	研究室名	健康人間科学	学年	DC	3	年次
論文分類	論文題目/書名		著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学術論文	膝伸展運動における大腿直筋および外側広筋の血液・酸素動態の相違		岡本孝信、増原光彦、生田香明	2005年5月	スポーツ整復療法学研究、6、3、103-106.		
学術論文	Are muscle oxygen and oxygen uptake affected by contraction velocity during eccentric exertions ?		Okamoto T, Masuhara M, Ikuta K	2005年6月	Isokinetic and Exer Sci. 13, 2, 123-128.		
学術論文	Cardiovascular responses induced during high-intensity eccentric and concentric isokinetic muscle contraction in healthy young adults		Okamoto T, Masuhara M, Ikuta K	2006年1月	Clinical Physiology and Functional Imaging. 26, 1, 39-44.		
学術論文	Differences of muscle oxygenation during eccentric and concentric contraction		Okamoto T, Masuhara M, Ikuta K	inpress	Isokinetic and Exer Sci		
学術論文	Effects of eccentric and concentric resistance training on arterial stiffness		Okamoto T, Masuhara M, Ikuta K	inpress	Journal of Human Hypertension		
学会発表	High intensity eccentric muscle contraction elicits a lower cardiovascular response than high intensity concentric muscle contraction		Okamoto T, Masuhara M, Ikuta K	2005年12月	Advances in exercise and sports physiology. 11, 4, 181.		
学会発表	身体活動の相違が児童の立位保持能力と筋の発達に及ぼす影響		岡本孝信、増原光彦、生田香明	2006年2月	体力科学. 54, 6, 552.		
学会発表	伸張性収縮における心臓血管応答は短縮性収縮よりも小さい		岡本孝信、増原光彦、生田香明	2005年7月31日	第13回日本運動生理学会		
学会発表	身体活動の相違が児童の立位保持能力と筋の発達に及ぼす影響		岡本孝信、中西盛一郎、西山清子、生田香明	2005年9月24日	第60回日本体力医学会		
学会発表	高強度の伸張性および短縮性収縮が心臓血管応答に及ぼす影響		岡本孝信、増原光彦、生田香明	2005年1月28日	第20回日本体力医学会近畿地方会		

指導教員	熊倉博雄	副指導教員	生田香明				
氏名	田淵 規之	研究室名	行動形態学	学年	DC	3	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名			
学会発表	Coodination change between gaze, head and hip due to early eye rotation during open cut maneuver.	Kjima, A., Kadota, K., Tabuchi, N., Matsuo, T., Hashizume, K.	2005年8月1日	XXth Congress of the International Society of Biomechanics, 339			
学会発表	野球の打撃動作におけるインパクトポイント	田淵規之、松尾知之、橋詰謙	2005年11月23日	運動学習研究会報告集 第15回 35-40.			

指導教員	中村 敏枝	副指導教員	臼井伸之介				
氏名	川上 愛	研究室名	感性情報心理学	学年	MC	2	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名			
学会発表	音楽聴取時の感動と性格特性の関係について	川上 愛・中村敏枝・河瀬 諭・安田 晶子・片平 建史	2005年5月28日	日本認知心理学会第3回大会発表論文集 pp.56.			
学会発表	音楽聴取によって生じる感動と性格特性の関係	川上 愛・中村敏枝・河瀬 諭・安田 晶子・片平 建史	2005年9月10日	日本心理学会第69回大会発表論文集pp.749.			
学会発表	演奏音の印象と演奏音聴取後の気分の関係ー“感動”の視点からー	川上 愛・中村敏枝・河瀬 諭・安田 晶子・片平 建史・堀中康行	2005年9月15日	ヒューマンインタフェースシンポジウム2005論文集 pp.627-630.			

指導教員	中村 敏枝	副指導教員	臼井伸之介				
氏名	安田 晶子	研究室名	感性情報心理学	学年	MC	2	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名			
学会発表	演奏音の音響的特性と聴取者の感動体験の関係	安田晶子・中村敏枝・河瀬諭・川上愛・片平建史	2005年5月28日	日本認知心理学会第3回大会発表論文集 58.			
学会発表	演奏音の音響的特性と聴取者の情動ならびに感動体験の関係	安田晶子・中村敏枝・河瀬諭・川上愛・片平建史・DragunaMaria	2005年9月12日	日本心理学会第69回大会発表論文集 748.			
学会発表	聴取者の感動体験に伴う情動と演奏音の音響的特性の関係	安田晶子・中村敏枝・河瀬諭・川上愛・片平建史・堀中康行	2005年9月16日	ヒューマンインタフェースシンポジウム2005論文集2 575-580.			

社会学系 回答者: 14名(内:活動有: 10、活動無: 4) 回答率: 22.2%
在籍者 63名(内:休学8)

指導教員	厚東洋輔	副指導教員	太郎丸 博				
氏名	柝澤健史	研究室名	理論社会学	学年	DC	1	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名			
学会発表	トラベリングと生活居住の変容～ジョン・アーリを手掛かりに～	柝澤健史	2005年5月29日	第56回関西社会学会大会報告要旨, 51			

指導教員	木前利秋	副指導教員	山中浩司				
氏名	岡田 正	研究室名	社会環境学	学年	DC	1	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名			
分担執筆	エンタテインメントとしてのプロレスと中年ファン	岡村正史(岡田正)	2005年8月24日	小田亮、亀井好恵編 プロレスファンという装置、青弓社 Pp. 199-226			
学術論文	スポーツとことば -「古舘伊知郎」とスポーツ実況-	清水泰生、岡村正史(岡田正)、梅津顕一郎、松田恵示	2006年3月21日	スポーツ社会学研究vol.14(印刷中)			
学会発表	一般紙における力道山/プロレス	岡村正史(岡田正)	2006年3月27日	日本スポーツ社会学会第15回大会			
研究会発表	虚実皮膜の世界としてのプロレス	岡村正史(岡田正)	2005年8月17日	西日本スポーツ社会学研究会			
研究会発表	現代風俗に学ぶことー力道山から古舘伊知郎まで	岡田 正	2005年8月24日	兵庫県高等学校教育研究会社会(地理歴史・公民)部会授業研究会			
研究会発表	プロレスと「日米」	岡村正史(岡田正)	2006年2月11日	第25回プロレス文化研究会			

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2005.7.23	岡村正史(岡田正)	研究会主宰 第23回プロレス文化研究会・建野友保「障害者プロレスのプロレス性」	
2005.11.5	岡村正史(岡田正)	研究会主宰 第24回プロレス文化研究会・梅津顕一郎「輪島大士と北尾光司」	
2006.1~	岡村正史(岡田正)	連載記事「力道山からプロレスへ」(ブログ)	Journalist Net

指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮				
氏名	藤原翔	研究室名	経験社会学	学年	MC	1	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名			
学会発表	学校社会学におけるMixed Methods Researchの可能性ー高校生の進路に関する3年間継続調査への適用ー	○中村高康・○片山悠樹・○西田亜希子・○藤原翔・越智政治・保田直美	2005年9月18日	第57会教育社会学会、2005年9月18日、(於:放送大学)。			
大学・研究所等報告	学校社会学におけるMixed Methods Researchの可能性ー高校生の進路に関する3年間継続調査への適用ー	中村高康・片山悠樹・西田亜希子・藤原翔	2006年3月	『大阪大学教育学年報』11(印刷中)。			
大学・研究所等報告	書評 Social Mobility in Europe	藤原翔	2006年3月	『年報人間科学』27(印刷中)。			

指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮				
氏名	秋山高範	研究室名	経験社会学	学年	MC	1	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名			
書評	Annette Lareau, <i>Unequal Childhoods: Class, Race and Family Life</i>	秋山高範	印刷中	年報人間科学,27			
書評	Viviana A. Zelizer, <i>Pricing the priceless child: the changing social value of children</i>	秋山高範	印刷中	人文学論集,24			

指導教員	牟田和恵	副指導教員	太郎丸 博			
氏名	藤田嘉代子	研究室名	コミュニケーション社会学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	アジアにおける日本研究の現在	屋萱素子、藤田嘉代子、山中千恵、朴ヤンスン、岡田トリシャ・サラザル	2006年1月31日	イメージとしての<日本>05-海外における日本のポピュラーカルチャー受容と日本研究の現在		

指導教員	牟田和恵	副指導教員	川端 亮			
氏名	堀江有里	研究室名	コミュニケーション社会学	学年	DC 2	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学術論文	「<レズビアン・アイデンティティ>という契機——その公共空間への介入可能性」	堀江有里	2005年7月20日	仲正昌樹編『ポスト近代の公共空間』御茶の水書房、143-175頁		
学術論文	「レズビアンの不可視性を克服するために——フェミニズムとの共闘可能性」	堀江有里	2006年1月15日	『福音と世界』2006年2月号、新教出版社、59-65頁。		
学術論文	「人権施策と<性的少数者>へのまなざし——日本におけるその非対称性を中心に」	堀江有里	2006年3月(近刊)	仲正昌樹編『グローバル化する市民社会の変容』御茶の水書房		
学術論文	「差別問題をめぐる<包摂>論の限界性——日本基督教団を事例に」	堀江有里	2006年3月20日	花園大学人権教育研究センター『人権教育研究』第14号		
学会発表	“Women’s Activism against Homophobia: Christian Discourse in the Non-Christian Society of Japan”	堀江有里	2005年7月8日	Sexualities, Genders, and Rights in Asia 1st International Conference of Asian Queer Studies (Bangkok, Thailand), July 07-09, 2005.		
学会発表	「社会運動における<アイデンティティ>の問題——異性愛主義への抵抗・その限界性と可能性」	堀江有里	2005年10月23日	日本社会学会・第78回大会(2005年10月22-23日、於・法政大学、一般報告)		
学会発表	「性的少数者の身体と国家の承認——『性同一性障害・特例法』をめぐって」	堀江有里	2006年3月21日	日本解放社会学会・第22回大会(2006年03月21-22日、於・龍谷大学、テーマ部会「制度とセクシュアリティ」)。		
大学・研究所等報告	「レズビアンは不可視なのか?——『性の多様性』の陥穽から」	堀江有里	2006年3月21日	日本フェミニスト神学・宣教センター 夏季集中講座(2005年07月16日、於・日本聖書神学校、テーマ:キリスト教と性(2)——性の多様性とフェミニストの視点)。		
大学・研究所等報告	「セクシュアリティ研究の現在——<性的指向>概念を中心として」	堀江有里	2005年10月3日	花園大学人権教育研究会・第53回例会		
大学・研究所等報告	「宗教におけるフェミニズムを考える——源淳子編著『「女人禁制」Q&A』を読んで」	堀江有里	2005年12月25日	科研プロジェクト「日本におけるフェミニズムと宗教研究の再編成」研究会(於・京都学園大学サテライトキャンパス)、コメンテーターとしての報告。		
翻訳	「セクシュアル・ハラスメント——性的自由と女の欲望の解放」	ドゥルシラ・コーネル	2006年2月10日	『イマジナリーな領域——中絶、ポルノグラフィ、セクシュアル・ハラスメント』御茶の水書房、仲正昌樹監訳、233-323頁(The Imaginary Domain: Abortion, Pornography, and Sexual Harassment, Routledge.)。		

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2005年8月	堀江有里	「レズビアンは不可視なのか?——『性の多様性』の陥穽から」	『日本フェミニスト神学・宣教センター通信』第34号、6-11頁。
2006年3月(近刊)	堀江有里	「『レズビアン』として生きる」	『花園大学人権教育研究センター』第9号(通巻28号)。

指導教員	牟田和恵	副指導教員	山中浩司			
氏名	park yangsoon	研究室名	コミュニケーション社会学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	イメージとしての日本	伊藤公雄	2006年1月31日	イメージとしての日本05p58~59		

指導教員	山中浩司	副指導教員	川端 亮			
氏名	高井俊子	研究室名	文化社会学	学年	DC 4	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	乳がん患者のグループ支援 — 奈良県の現状と課題—	高井俊子	2005年 11月 17日	第26回奈良県公衆衛生学会		
実践報告	在宅看護をグループ学習で学ぶ重要性	高井俊子・岡本啓子	2005年12月 25日	看護教育、46,12,1120-1126.		
研究報告	乳がん患者のグループ支援—奈良県の現状から支援のあり方を考える—	高井俊子	2006年3月1日	奈良県立医科大学医学部看護学科紀要、VOL2(印刷中)		

指導教員	山中浩司	副指導教員	牟田和恵			
氏名	山崎(木島)晶	研究室名	文化社会学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	An investigation of Street Music early modern Japan	山崎晶	2005年7月29日	International Association Study of Popular Music (論文集刊行未定)		
学術論文	明治初年大阪での違式註違条例の受容	山崎晶	2006年3月(予定)	日本社会学会編、「社会学評論」56巻4号(印刷中)		

指導教員	山中浩司	副指導教員	吉川 徹			
氏名	竹田 恵子	研究室名	文化社会学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	補助生殖技術受診者の抵抗感からみえるもの —「人的介入」と「技術的介入」—	竹田 恵子	2005年5月28日	関西社会学会第56回大会		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2005.11	竹田 恵子	柿内賢信奨励賞	科学技術社会論学会

人間学系 回答者:11名(内:活動有5、活動無:6) 回答率:22.4%
 在籍者 48名(内:休学6)+研究生1

指導教員	中山康雄	副指導教員	檜垣立哉			
氏名	安本 英奈	研究室名	論理科学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	ハーバマスの普遍語用論の検討	安本 英奈・中山康雄	2005年6月18日	科学基礎論学会2005年度 総会と講演会		
学会発表	発語内的効果間の論理的関係	安本 英奈・中山康雄	2005年7月31日	日本認知科学会第22回大会発表論文集 362-363		

指導教員	中山康雄	副指導教員	檜垣立哉			
氏名	伊藤 彰雄	研究室名	論理科学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	アナロジーのプロトタイプ解釈	伊藤彰雄・中山康雄	2005年7月29日	日本認知科学会第22回発表論文集 168-169.		

指導教員	菅野盾樹	副指導教員	檜垣立哉		
氏名	松本 明子	研究室名	基礎人間学	学年	DC 3 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
学会発表	パース記号論によるフラメンコ分析の試み	松本 明子	2005年5月22日	日本記号学会第25回大会研究発表	
フィールドワーク	〈パース記号論によるフラメンコ分析〉のための調査研究	松本 明子	2006年2月13日～3月8日	大阪大学大学院GPフィールドワーク支援基金	
学術論文	パース記号論によるフラメンコ分析の試み	松本 明子	2006年	日本記号学会新記号論叢書③(印刷中)	

指導教員	シュベントカー				
氏名	多賀健太郎	研究室名	文明動態学	学年	研究生
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
学会発表	喪の証言性をめぐって	多賀健太郎	2005年11月20日	表象文化論学会[仮]設立学会	
翻訳	生政治、免疫、共同体	ロベルト・エスポジト	2006年2月10日	『RATIO』第01号 講談社 pp.178-193	
大学・研究所等報告	『啓蒙の弁証法』をめぐって[仮]	多賀健太郎	2006年3月3日	未定	

指導教員	小泉潤二	副指導教員	春日直樹		
氏名	Ushi Arakaki	研究室名	人類学	学年	DC 1 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
研究発表	(英題)Brazilian Nikkeijin in Japan; deterritorialization of a cultural identity	Ushi Arakaki	2006年9月28日	XII Symposium FIEAL-ROME, Italy	

教育学系 回答者:68名(内:活動有47、活動無:21) 回答率:52.3%
 在籍者 128名(内:休退学21)+研究生2

指導教員	藤川信夫	副指導教員	志水宏吉		
氏名	高松みどり	研究室名	教育人間学	学年	DC 4 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
翻訳	歴史的人間学事典 第二巻	著者:クリストフ・ヴルフ、監訳:藤川信夫	2005年9月	勉誠出版、pp.516-524,pp.586-598	
学会発表	戦略としての「名前」の「引用」-パトラーの「触発する言葉」-	高松みどり	2005年10月1日	教育哲学会、第48回大会、香川大学	
学術論文	Die Inszenierung des Austrittsrituals in der japanischen Grundschule-eine Fotoanalyse auf der Grundlage der Dokumentarischen Methode-	高松みどり	2006年3月出版予定	大阪大学大学院人間科学研究科教育学科、大阪大学教育学年報第11号、頁未定。	
翻訳	フィクションとしての病	著者:ディーター・レンツェン、監訳:藤川信夫	2006年出版予定	勉誠出版、頁未定。	
学術論文	The "Performance" of "Name" as a strategy-Butlers "Excitable Speech"-	高松みどり	2006年出版予定	Concepts of aesthetiks, Waxmann出版社、頁未定。	
翻訳	歴史的人間学事典 第一巻	著者:クリストフ・ヴルフ、監訳:藤川信夫	2006年出版予定	勉誠出版、頁未定。	

指導教員	藤川信夫	副指導教員	木村涼子			
氏名	森岡 次郎	研究室名	教育人間学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	他者論の行方 ―生命、メディア、あるいは、不在の刻印―	久保田健一郎・森岡次郎・谷村千絵・藤田雄飛	2005年9月18日	近代教育フォーラムNo.14		
学会発表	新優生学と教育に関する一考察	森岡 次郎	2005年10月23日	教育哲学会第48回大会 一般研究発表		
学術論文	「内なる優生思想」という問題 ―「青い芝の会」の思想を中心に―	森岡 次郎	2006年3月31日	大阪大学教育学年報No.11(印刷中)		

指導教員	藤川信夫	副指導教員	志水宏吉			
氏名	國崎 大恩	研究室名	教育人間学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学術論文	デューイ思想における時間と教育	國崎 大恩	2005年6月30日	関西教育学会紀要、29号、16―20頁		
学会発表	デューイ思想における身体 ―フロイトの無感動をして／あるいはデューイの…―	國崎 大恩	2005年10月9日	日本デューイ学会第49回大会		

指導教員	藤川信夫	副指導教員	山中浩司			
氏名	渋谷 亮	研究室名	教育人間学	学年	DC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	視覚・身体・教育	渋谷 亮	2005年10月22日	教育哲学会第48回大会		
学術論文	イメージの教育思想史	渋谷 亮	2006年3月31日	大阪大学教育学年報 No11		

指導教員	菅井勝雄	副指導教員	前迫孝憲			
氏名	香川順子	研究室名	教育工学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学術論文	他者との関係性を重視した自己発見支援学習を支援する初年次教育プログラムの開発	香川順子	2005年5月	『大学教育学会誌』. 第27巻 第1号. pp.152-157		
学術論文	大学生を対象とした自己発見の学習―自己実現の支援	香川順子	2005年11月	『大学教育学会誌』. 第27巻 第2号. pp.111-115		
学術論文	大学生を対象とした自己発見支援システムの開発	香川順子	2006年(印刷予定)	『日本教育工学会誌』. 第29巻suppl.		

指導教員	菅井勝雄	副指導教員	前迫孝憲			
氏名	姜 和夫	研究室名	教育工学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
研究報告	不登校・家庭学習支援―ホップ・ステップ・ジャンプ	菅井勝雄等	2006年3月予定	放送大学大学院教材: 人間情報科学とe-learning 財団法人放送大学教育振興会(印刷中)		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2006.3	伊原和夫(姜 和夫)e-Kokoro協議会	文部科学省及びインターネット活用教育実行委員会賞	文部科学省及びインターネット活用教育実践コンクール実行委員会

指導教員	菅井勝雄	副指導教員	前迫孝憲		
氏名	奥林泰一郎	研究室名	教育学	学年	MC 2 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
学会発表	現代音楽コンサートの3Gモバイル国際リアルタイム配信	前迫孝憲, 菅木真治, 小寺孝典, 重田勝介, 奥林泰一郎, 中澤明子	2005年9月24日	日本教育工学会第21回大会論文集 563-564	
学会発表	「超鏡」に関する教員支援サイトの開発と評価	中澤明子, 重田勝介, 奥林泰一郎, 前迫孝憲, 松河秀哉, 岡田香菜子	2005年9月25日	日本教育工学会第21回大会論文集 765-766	
学会発表	センサを用いた日米間遠隔合同授業	重田勝介, 奥林泰一郎, 中澤明子, 岡田香菜子, 前迫孝憲	2005年9月25日	日本教育工学会第21回大会論文集 815-816	
学会発表	幼児期における保育の質の重要性	奥林 泰一郎	2005年9月25日	日本教育工学会第21回大会論文集 857-858	
学会発表	国際交流学習におけるコーディネータの役割に関する研究	奥林泰一郎・重田勝介・中澤明子・岡田香菜子・前迫孝憲	2006年1月28日	日本教育工学会研究報告集 23-26	

指導教員	菅井勝雄	副指導教員	前迫孝憲		
氏名	岡本尚子	研究室名	教育学	学年	MC 1 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
学会発表	脳計測の数学教育への応用の可能性について	岡本尚子・黒田恭史	2005年8月23日	数学教育学会夏季研究会発表論文集:58-61	
学会発表	脳活動計測を指標とした学習者モデル構築の可能性	岡本尚子・江田英雄・山内留美・菅井勝雄・前迫孝憲・黒田恭史	2005年8月25日	教育システム情報学会30周年記念全国大会講演論文集:47-48	
学会発表	計算課題遂行時の脳内ヘモグロビン濃度変化の特徴について	岡本尚子・黒田恭史	2005年9月19日	数学教育学会大学院生部研究会発表論文集, 9:27-30	
学会発表	立体製作時における脳内ヘモグロビン濃度の変化について	岡本尚子・江田英雄・山内留美・菅井勝雄・前迫孝憲・黒田恭史	2005年9月25日	日本教育工学会大会講演論文集, 21:147-150	
学会発表	生体情報を指標とした学習評価の可能性について	黒田恭史・江田英雄・山内留美・岡本尚子・菅井勝雄・前迫孝憲	2005年9月25日	日本教育工学会大会講演論文集, 21:719-720	
学会発表	立体製作時と確認時の脳内ヘモグロビン濃度変化の特徴について	黒田恭史・岡本尚子	2005年11月5日	日本教育実践学会研究大会発表論文集, 8:59-60	
学会発表	乗法・除法における順思考と逆思考がもたらす脳内ヘモグロビン濃度変化の差異について	岡本尚子・菅井勝雄・前迫孝憲・黒田恭史	2006年1月28日	日本教育工学会研究報告集JSET06-1:1-8	
学会発表	脳情報の復号化がもたらす形式陶冶と実質陶冶の新たな展開	黒田恭史・岡本尚子	2006年1月28日	日本教育工学会研究報告集JSET06-1:9-14	
学会発表	計算過程における順思考と逆思考がもたらす脳内ヘモグロビン濃度変化の特徴	岡本尚子・山内留美・黒田恭史	2006年3月26日	数学教育学会春季年会発表論文集(印刷中)	

指導教員	菅井勝雄	副指導教員	前迫孝憲			
氏名	森 秀樹	研究室名	教育学	学年	MC	1 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	ワークショップ実践家育成の試み	上田信行・森秀樹	2005年9月23日	日本教育工学会第21回大会論文集 365-366.		

指導教員	前迫孝憲	副指導教員	菅井勝雄			
氏名	重田勝介	研究室名	コミュニケーション・メディア	学年	DC	2 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	センサを用いた日米間遠隔合同授業	重田勝介 奥林泰一郎 中澤明子 岡田香菜子 前迫孝憲	2005年9月23日	日本教育工学会第21回全国大会講演論文集		
大学・研究会等論文	遠隔映像協調環境の分析	重田勝介 松河秀哉 前迫孝憲	2006年1月28日	日本教育工学会研究報告集 06-1		
学会発表	現代音楽コンサートの3Gモバイル国際リアルタイム配信	前迫孝憲 管木真治 小寺孝典 重田勝介 奥林泰一郎 中澤明子	2005年9月23日	日本教育工学会第21回全国大会講演論文集		
学会発表	米国における教育評価システムの動向	岡田香菜子 辻岡圭子 重田勝介 前迫孝憲	2005年9月23日	日本教育工学会第21回全国大会講演論文集		
学会発表	「超鏡」に関する教員支援サイトの開発と評価	中澤明子 重田勝介 奥林泰一郎 前迫孝憲 松河秀哉 岡田香菜子	2005年9月23日	日本教育工学会第21回全国大会講演論文集		
大学・研究会等論文	遠隔映像協調環境の分析	重田勝介 中澤明子 松河秀哉 前迫孝憲	2006年2月25日	情報コミュニケーション学会研究報告集		

指導教員	前迫孝憲	副指導教員	菅井勝雄	研究室名		教育学	学年	DC 2 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名				
大学・研究所等報告	下肢の支持性が低下した人に対する移乗動作の身体的・心理的負担の評価	伊丹君和,安田寿彦,豊田久美子,他	2006年3月31日	人間看護学研究,第3号(印刷中)				
学会発表	移乗サポートロボットを用いての有効な立ち上がり動作の検証	伊丹君和,豊田久美子,久留島美紀子,藤田きみゑ	2005年7月22日	第31回日本看護研究学会学術集会日本看護研究学会雑誌28(3),286				
学会発表	生活行動援助技術を「想像し、創造する力」を引き出す教育の工夫 第3報 —「動くこと」の援助の授業展開から—	伊丹君和,本田可奈子,久留島美紀子,豊田久美子	2005年7月23日	日本看護学教育学会第15回学術集会日本看護学教育学会誌, 15, 132				
学会発表	生活行動援助技術を「想像し、創造する力」を引き出す教育の工夫 第1報 —全体構成とその展開—	豊田久美子,伊丹君和,久留島美紀子,本田可奈子	2005年7月23日	日本看護学教育学会第15回学術集会日本看護学教育学会誌, 15, 130				
学会発表	生活行動援助技術を「想像し、創造する力」を引き出す教育の工夫 第2報 —グループワークに対する学生の反応から—	本田可奈子,伊丹君和,久留島美紀子,豊田久美子	2005年7月23日	日本看護学教育学会第15回学術集会日本看護学教育学会誌, 15, 131				
学会発表	生活行動援助技術を「想像し、創造する力」を引き出す教育の工夫 第4報 —「入浴」の援助の授業展開から—	久留島美紀子,伊丹君和,本田可奈子,豊田久美子	2005年7月23日	日本看護学教育学会第15回学術集会日本看護学教育学会誌, 15, 133				
学会発表	自立支援型介助ロボットの研究—第1報 基本構想と機構について—	安田寿彦,林琢磨,北川泰章,伊丹君和,他	2005年9月19日	日本機会学会2005年度全国大会講演論文集(6), 81-82				
学会発表	筋電図実測などの実験を組み入れた看護学生への「ボディメカニクス」教育の試み	伊丹君和,豊田久美子,久留島美紀子,他	2005年9月25日	日本教育工学会第21回全国大会講演論文集, 905-906				
学会発表	自立支援型介助ロボットの研究—第2報 移乗介助ロボットによる立ち上がり動作終了姿勢の評価—	安田寿彦,林琢磨,伊丹君和,他	2005年12月8日	日本機械学会福祉工学シンポジウム2005講演論文集, 213-216				
学会発表	看護学生における生活体験・対人関係の実態と他者意識との関連	伊丹君和,亀澤里恵子,川合小百合,他	2005年12月22日	第36回日本看護学会論文集—看護教育—, 209-211.				

指導教員	前迫孝憲	副指導教員	菅井勝雄	研究室名		コミュニケーション・メディア	学年	DC 1 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名				
学術論文	近畿圏の高等学校における教科「情報」の現状と課題	中野由章	2005年4月23日	情報処理学会研究報告 Vol.2005, No.36, pp.41-48				
学術論文	教科書にみる教科「情報」の教育現場における現状と課題	中野由章	2005年6月18日	情報処理学会研究報告 Vol.2005, No.62, pp.17-24				
学会発表	総合的な学習の時間	中野由章	2005年8月21日	情報処理学会 情報教育シンポジウム SSS2005				
学会発表	近畿圏の高校における現状と課題	中野由章	2005年10月29日	情報処理学会 情報処理教育委員会シンポジウム—高校教科「情報」の現状と将来—				

指導教員	前迫孝憲	副指導教員	菅井勝雄			
氏名	中澤明子	研究室名	コミュニケーションメディア	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	「超鏡」に関する教員支援サイトの開発と評価	中澤明子・重田勝介・奥林泰一郎・前迫孝憲・松河秀哉・岡田香菜子	2005年9月25日	日本教育工学会第21回全国大会講演論文集 765-766.		
学会発表	現代音楽コンサートの3Gモバイル国際リアルタイム配信	前迫孝憲・菅木真治・小寺孝典・重田勝介・奥林泰一郎・中澤明子	2005年9月24日	日本教育工学会第21回全国大会講演論文集 563-564.		
学会発表	センサを用いた日米間遠隔合同授業	重田勝介・奥林泰一郎・中澤明子・岡田香菜子・前迫孝憲	2005年9月25日	日本教育工学会第21回全国大会講演論文集 815-816.		
研究報告	国際交流学習におけるコーディネータの役割に関する研究	奥林泰一郎・重田勝介・中澤明子・岡田香菜子・前迫孝憲	2005年1月28日	日本教育工学会研究報告集 2006(1), 23-26.		

指導教員	菅井勝雄	副指導教員	前迫孝憲			
氏名	辻岡圭子	研究室名	教育学	学年	研究生	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	EGAP(English for General Purposes)教育について:EGPからESPへの架け橋	辻岡圭子	2005年6月4日	JACET関西支部2005年度春季大会、研究発表 2-1、p3		
学術論文	Faircloughの枠組み__英語教育への応用__	辻岡圭子	2005年9月1日	批判的談話分析(CDA)の手法と展望、日本時事英語学会 時事英語談話分析研究分科会 Pp.109-121		
学会発表	遠隔講義による国際理解教育	辻岡圭子	2005年9月25日	日本教育工学会代21回全国大会 講演論文集 Pp.817-818		
研究会発表	YGPI評価支援システム	辻岡圭子・辻岡光宏・辻岡宏美	2006年1月28日	日本教育工学会 研究報告集、理論と学習環境の拡張 Pp43-48		

指導教員	井村 修	副指導教員	老松克博			
氏名	大前玲子	研究室名	臨床心理学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	箱庭療法における心理的課題の意識化の試み	大前玲子	2005年9月7日	日本心理臨床学会第24回大会論文集 48		
学会発表	箱庭療法における意識化の試み	大前玲子	2005年10月10日	日本箱庭療法学会第19回大会論文集92-93		

指導教員	井村 修	副指導教員	老松克博			
氏名	梁 誠崇	研究室名	臨床心理学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所等報告	筋ジストロフィー患者を持つ親の問題意識—自由記述回答の分析から	梁誠崇・中田果林・西川佳織ら	2005年12月1日	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究(主任研究者 神野進)、94頁		
大学・研究所等報告	筋ジストロフィー病棟における看護師のJob Identityに関する問題	成田慶一・梁誠崇・東井申雄・西川佳織・原三恵ら	2005年12月1日	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究(主任研究者 神野進)、77頁		
大学・研究所等報告	プラス思考になりたいということを主訴として来談した40代女性との面接過程	梁誠崇	2005年12月20日	大阪大学人間科学研究科心理教育相談室紀要11、79-88頁		

指導教員	井村 修	副指導教員	老松克博			
氏名	中田果林	研究室名	臨床心理学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	身体障害者の心理的自立を考える	中田果林・井村修	2005年11月25日	2005年日本リハビリテーション心理学会論文集		

指導教員	井村 修	副指導教員	藤岡淳子			
氏名	高橋 暁彦	研究室名	臨床心理学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
紀要論文	乳児期に母親から身体的虐待を受けた男児との養護施設でのプレイセラピー(仮)	高橋暁彦	2006/12月予定	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要		

指導教員	西澤 哲	副指導教員	老松克博			
氏名	管生 聖子	研究室名	臨床心理学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	虐待が及ぼす子どもの行動への影響に関する研究(1)－改訂版虐待経験尺度評価尺度(AEI-R)の作成とカットオフ値設定の試み-	屋内麻里・西澤哲・尾崎仁美・上條史絵・管生聖子・中田果林・沼谷直子・藤澤陽子・松原秀子・山本知加	2005年11月11日	第46回日本児童青年精神医学会		
学会発表	虐待が及ぼす子どもの行動への影響に関する研究(2)－改訂版虐待を受けた子どもの行動チェックリスト(ACBL-R)の作成とカットオフ値設定の試み-	上條史絵・西澤哲・尾崎仁美・管生聖子・中田果林・沼谷直子・藤澤陽子・松原秀子・屋内麻里・山本知加	2005年11月11日	第46回日本児童青年精神医学会		
学会発表	虐待が及ぼす子どもの行動への影響に関する研究(3)－改訂版虐待経験尺度評価尺度(AEI-R)と改訂版虐待を受けた子どもの行動チェックリスト(ACBL-R)を用いた実証的研究	管生聖子・西澤哲・尾崎仁美・上條史絵・中田果林・沼谷直子・藤澤陽子・松原秀子・屋内麻里・山本知加	2005年11月11日	第46回日本児童青年精神医学会		
研究科紀要	過呼吸を主訴とする娘を持つ母との面接過程	管生 聖子	2005年12月20日	大阪大学人間科学研究科心理教育相談室紀要		

指導教員	西澤 哲	副指導教員	井村 修	老松克博			
氏名	松本拓真	研究室名	臨床心理学	学年	MC 2	年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名			
大学・研究所等報告	事例論文「不器用に怒りを表出してしまう男児とのプレイセラピー」	松本拓真	2006年9月1日	大阪大学心理教育相談室紀要2005			

指導教員	西澤 哲	副指導教員	井村 修			
氏名	屋内麻里	研究室名	臨床心理学	学年	MC	2 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	子どもの虐待経験と虐待による行動特徴の評価に関する研究	西澤哲・尾崎仁美・上條史絵・菅生聖子・中田果林・沼谷直子・藤澤曜子・松原秀子・屋内麻里・山本知加	2005年3月	平成16年厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書 22-86.		
学会発表	虐待が及ぼす子どもの行動への影響に関する研究(1)―「虐待経験評価尺度(改訂版):AEI-R」の作成とカットオフ値設定の試み―	屋内麻里・西澤哲・尾崎仁美・上條史絵・菅生聖子・中田果林・沼谷直子・藤澤曜子・松原秀子・山本知加	2005年11月11日	第46回二小児童精神医学会総会抄録集 221-223.		

指導教員	西澤 哲	副指導教員	老松克博			
氏名	上條 史絵	研究室名	臨床心理学	学年	MC	2 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	虐待が及ぼす子どもの行動への影響に関する研究(2)「虐待を受けた子どもの行動チェックリスト(ACBL-R)の作成とカットオフ値設定の試み	上條史絵・尾崎仁美・菅生聖子・沼谷直子・藤澤陽子・松原秀子・屋内麻里・西澤哲	2005年11月11日	第46回日本児童青年精神医学会		

指導教員	西澤 哲	副指導教員	井村 修			
氏名	西川佳織	研究室名	臨床心理学	学年	MC	1 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	筋ジストロフィー病棟における看護師のJob Identityに関する問題	成田慶一・梁誠崇・東井申雄・西川佳織・原三恵・島田和久・齋藤利雄・松村剛・神野進	2005年12月1日	厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究」平成17年度班会議		
学会発表	筋ジストロフィー患者を持つ親の問題意識―自由記述回答の分析から	梁誠崇・中田果林・西川佳織・島田和久・齋藤利雄・松村剛・神野進	2005年12月1日	厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究」平成17年度班会議		

指導教員	西澤 哲	副指導教員	宮田敬一			
氏名	原 三恵	研究室名	臨床心理学	学年	MC	1 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所等報告	筋ジストロフィー患者の心理的特性の理解～患者～看護師関係に注目して	谷口弘恵・原三恵・東井申雄ら	2005年12月1日	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究(主任研究者 神野進) 平成17年度班会議発表 抄録集 P.76		
大学・研究所等報告	筋ジストロフィー病棟における看護師のJob Identityに関する問題	成田慶一・梁誠崇・東井申雄・西川佳織・原三恵ら	2005年12月1日	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究(主任研究者 神野進) 平成17年度班会議発表 抄録集 P.77		

指導教員	老松克博	副指導教員	宮田敬一			
氏名	桜井利行	研究室名	臨床心理学	学年	DC	3 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	ひきこもり当事者によるセルフヘルプグループ形成の過程	桜井利行	2005年9月10日	日本心理学会第69回大会発表論文集 219		

指導教員	老松克博	副指導教員	井村 修			
氏名	谷口弘恵	研究室名	臨床心理学	学年	DC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学報告	父親の暴力を見てきた7歳女兒との心理療法過程	谷口弘恵	2005年12月20日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要第11号 14-21頁.		
大学・研究所等報告	筋ジストロフィー患者の心理的敵特性の理解～患者—看護師関係に注目して～	谷口弘恵、原三恵、東井申雄ら	2005年12月1日	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究(筋ジス研究神野班)」平成17年度班会議(研究成果報告会)抄録76頁.		

指導教員	老松克博	副指導教員	井村 修			
氏名	志満慈子	研究室名	臨床心理学	学年	DC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
翻訳	The Handbook of Child and Adolescent Psychotherapy	Monica Lanyado and Ann Horne	翻訳中 未定			

指導教員	老松克博	副指導教員	井村 修			
氏名	岡尾 裕美子	研究室名	臨床心理学	学年	DC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学相談室紀要	摂食障害の息子と母親の面接過程	岡尾 裕美子	2005年12月20日	大阪大学大学院人間科学研究科 心理教育相談室紀要 第11号, 25-33.		

指導教員	老松克博	副指導教員	井村 修			
氏名	成田 慶一	研究室名	臨床心理学	学年	DC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	筋ジストロフィー病棟における看護師のJob Identityに関する問題	成田慶一・梁誠崇・東井申雄・西川佳織・原三恵・畠田和久・齋藤利雄・松村 剛・神野進	2005年12月1日	厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究」平成17年度班会議		
大学・研究所等報告	シゾイド人格が疑われる20代男性の事例	成田慶一	2005年12月3日	渡辺カウンセリングルーム主催 チーム心理療法研究会 第11回オープンセミナー		

指導教員	老松克博	副指導教員	井村 修			
氏名	東井申雄	研究室名	臨床心理学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	筋ジストロフィー病棟における看護師のJob Identityに関する問題	成田慶一・梁誠崇・東井申雄・西川佳織・原三恵・畠田和久・齋藤利雄・松村剛・神野進	2005年12月1日	厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究」平成17年度班会議		
学会発表	筋ジストロフィー患者の心理的特性の理解～患者—看護師関係に注目して～	谷口弘恵・原三恵・東井申雄・畠田和久・齋藤利雄・松村剛・神野進	2005年12月1日	厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究」平成17年度班会議		

指導教員	近藤博之	副指導教員	中村高康			
氏名	保田直美	研究室名	教育動態学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	学校社会学における Mixed Methods Research の可能性	中村高康・片山悠樹・西田亜希子・藤原翔・越智政治・保田直美	2005年9月17日	日本教育社会学会第57回大会発表要旨集録, pp. 320-325.		

指導教員	近藤博之	副指導教員	中村高康			
氏名	越智 政治	研究室名	教育社会学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	進路変容過程に関する質的データの探索的解析	越智 政治	2006年9月18日	日本教育社会学会第57回大会 pp.253-254		

指導教員	中村高康	副指導教員	近藤博之			
氏名	西田 亜希子	研究室名	教育社会学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所等報告	大学における友人関係	西田亜希子	2005年5月21日	平成16年～18年度文部科学省研究補助金(基盤研究(B))「有効な学生支援に関する実証的研究－学生のキャンパス ライフからの考察－」研究成果・中間報告書 「学生のキャンパスライフの実証的研究－21大学・学生調査の分析－」, 99-107		
学会発表	学校社会学におけるMixed Methods Researchの可能性－高校生の進路に関する3年間継続調査への適用－	中村高康・片山悠樹・西田亜希子・藤原翔・越智政治・保田直美	2005年9月18日	日本教育社会学会 第57回大会発表要旨集録, 320-325		
大学・研究所等報告	学校社会学におけるMixed Methods Researchの可能性－高校生の進路に関する3年間継続調査への適用－	中村高康・片山悠樹・西田亜希子・藤原翔	2006年3月31日	大阪大学教育学年報, 第10号(印刷中)		

指導教員	小野田正利	副指導教員	平沢安政			
氏名	浅田 昇平	研究室名	教育制度学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所等報告	小・中学校における学力保障の現状と課題」	浅田昇平・大林正史	2005年3月31日	京都教育大学公教育経営研究会誌『教育研究論集』第13巻		
学会発表	「開かれた学校」に関わる議論に関する研究	浅田昇平	2005年11月12日	日本教育制度学会第13回大会発表		

指導教員	平沢安政	副指導教員	木村涼子			
氏名	片山 悠樹	研究室名	生涯教育学	学年	DC 3	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	学校社会学研究におけるMixed Methods Research の可能性	中村高康・片山悠樹・西田亜希子・藤原翔・越智政治・保田直美	2005年9月18日	日本教育社会学会第56回大会発表要旨収録 320-325.		
大学・研究所等報告書	学校社会学研究におけるMixed Methods Research の可能性	中村高康・片山悠樹・西田亜希子・藤原翔	2006年2月15日	大阪大学教育学年報(印刷中)		
科学研究中間報告	多様化する入学者選抜と学生文化への影響	片山悠樹	2005年5月21日	学生のキャンパスライフの実証的研究 77-82.		

指導教員	平沢安政	副指導教員	木村涼子			
氏名	林幸子	研究室名	生涯教育学	学年	DC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学術論文	「居場所」としての学級－小・中学生の学校生活の実態から－	林幸子	2006年3月21日	大阪大学教育学年報		

指導教員	平沢安政	副指導教員	木村涼子			
氏名	鳥越 ゆい子	研究室名	生涯教育学	学年	DC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学術論文	学校に過剰適応する中学生に関する考察	鳥越ゆい子	2006年3月31日	大阪大学教育学年報No.11(印刷中)		

指導教員	平沢安政	副指導教員	木村涼子			
氏名	今井貴代子	研究室名	生涯教育学	学年	DC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	子どもの参画と居場所	今井貴代子	2006年2月1日	大阪市教育委員会と大阪大学の生涯学習に関する共同研究報告書		

指導教員	平沢安政	副指導教員	木村涼子			
氏名	日浦 直美	研究室名	生涯教育学	学年	DC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所等報告	保育における「思いやり」志向に関する考察：(1)可視的「差異」に対する子どもの言動と保育者の対応	日浦直美	2005年12月20日	聖和大学論集 一教育学系一 第33号A Pp.113-123		

指導教員	平沢安政	副指導教員	木村涼子			
氏名	石川 朝子	研究室名	生涯教育学	学年	DC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
大学・研究所等報告	日本華僑・華人のアイデンティティ形成に関する一考察-他者との関係に焦点をあてて-	石川 朝子		大阪大学 教育学年報 (校正中)		

指導教員	平沢安政					
氏名	福嶋 順	研究室名	生涯教育学	学年	研究生	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	NPOによる生涯学習施設運営	福嶋順	2006年3月予定	赤尾勝巳編『現代のエスプリ特集 生涯学習の最前線』至文堂(校正中)		
学会発表	社会教育施設におけるNPO参加の可能性-箕面市立西南図書館「読書室」の管理運営委託を事例として-	福嶋順	2005年6月5日	日本社会教育学会六月集会 プロジェクト研究「NPOと社会教育」		

指導教員	志水宏吉	副指導教員	平沢安政			
氏名	新矢麻紀子	研究室名	教育文化学	学年	DC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会パネルセッション	多文化共生社会と日本語教育	山田泉・尾崎明人・新矢麻紀子・米勢治子	2005年5月22日	日本語教育学会春季大会予稿集 225-232		
学会発表	言語教育者の新たな自己研修の可能性 “New Directions for Self-Development for Language Teachers”	春原憲一郎・新矢麻紀子	2005年12月13日	Proceedings for the International Conference ILANNS 2005		
学術論文	言語教育者の新たな自己研修の可能性：大学間プログラムは言語教師の自己研修にどう活かせるか-マラ工科大学・松山東雲女子大学の事例から-	新矢麻紀子	印刷中	Papers for the International Conference ILANNS 2005		
学術論文	大学の国際化をめざした大学間交流の意義と課題-松山東雲女子大学・マラ工科大学学術教育交流プログラムから-	新矢麻紀子	印刷中(3月発行予定)	松山東雲女子大学人文学部紀要		

指導教員	志水宏吉	副指導教員	中村高康			
氏名	川口俊明	研究室名	教育文化学	学年	DC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告	大阪大学大学院人間科学研究科教育文化学研究室	平成17年12月			
研究論文	学力の階層差を縮小する学校＝「効果のある学校」を探す	川口俊明	平成17年12月	大阪大学教育学年報11号		

指導教員	志水宏吉	副指導教員	平沢安政			
氏名	棚田洋平	研究室名	教育文化学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
研究室委託調査報告書	性別による進路意識・学習意欲の差異－「冷める」女の子の意欲－	棚田洋平	2005年 12月	大阪大学大学院人間科学研究科教育文化学研究室編 平成17年度 尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告 58-71		
研究室紀要	夜間中学の歴史的変遷(仮)	棚田洋平	未定	教育文化学研究室研究紀要(仮)		

指導教員	志水宏吉	副指導教員	小野田正利			
氏名	奥村美保	研究室名	教育文化学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	勉強に対する意欲と学力	大阪大学大学院人間科学研究科教育文化学研究室	2006年12月	平成17年度 尼崎市立小・中学校 学力・生活実態調査報告 Pp.47-51.		

指導教員	志水宏吉	副指導教員	小野田正利			
氏名	金城 忠	研究室名	教育文化学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告	大阪大学大学院人間科学研究科教育文化学研究室	平成17年12月			

指導教員	志水宏吉	副指導教員	中村高康			
氏名	伊佐夏実	研究室名	教育文化学	学年	MC 2	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
報告書	平成17年度尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告	大阪大学大学院人間科学研究科教育文化学研究室	2005年12月			

指導教員	志水宏吉	副指導教員	平沢安政			
氏名	比嘉 康則	研究室名	教育文化学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告	大阪大学大学院人間科学研究科教育文化学研究室	2005年12月1日			

指導教員	志水宏吉	副指導教員	木村涼子			
氏名	木村 安絵	研究室名	教育文化学	学年	MC 1	年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告	大阪大学大学院人間科学研究科教育文化学研究室	平成17年12月			

共生学系

回答者: 19名(内: 活動有: 14人、活動無: 5)
 在籍者 53名(内: 休退学4)+研究生1

回答率: 35.2%

指導教員	内海成治	副指導教員	中村安秀		
氏名	津吹 直子	研究室名	国際協力論	学年	DC 2 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
大阪大学 国際ワークショップ	国際機関における緊急復興教育支援の政策: UNESCOとUNHCR	津吹 直子	2005年11月16日	国際ワークショップ「復興過程における教育の再構築」	
お茶の水女子大学 国際ワークショップ	国際機関における緊急復興教育支援の政策「UNESCOとUNHCRを中心として」	津吹 直子	2005年11月18日	国際ワークショップ「復興過程における教育の再構築—その現状と課題—」	
学会発表	紛争後の教育支援における多様なアクターの協働 —INEEの構築から—	津吹 直子・内海 成治	2006年2月18日	第7回国際ボランティア学会大会発表要旨収録集 36-37.	

指導教員	内海成治	副指導教員	中村安秀		
氏名	長沼 豊	研究室名	国際協力論	学年	DC 1 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
編著	特別活動概論	長沼豊・柴崎直人・林幸克	2005年4月1日	久美出版	
論文	ボランティア能力を育てるポイント	長沼豊	2005年5月25日	ぎょうせい「シリーズ学校力・第4巻」pp.160-163	
論文	自治活動能力を育てるポイント	長沼豊	2005年5月25日	ぎょうせい「シリーズ学校力・第4巻」pp.148-151	
論文	児童会・生徒会の指導の「成果」をどう示すか	長沼豊	2005年6月1日	教育開発研究所「成果重視の学校経営 100の実践ポイント」pp.116-117	
論文	豊かな心を育む体験活動	長沼豊	2005年7月1日	第一法規「学校教育相談の理論・実践事例集」II-2-(10)pp.3-15	
論文	体験的活動を大事にしよう —社会体験など—	長沼豊	2005年8月5日	金子書房「児童心理」2005年8月臨時増刊号 pp.157-162	
論文	生きて働く社会性を育てる	長沼豊	2005年9月15日	文部科学省「初等教育資料」2005年9月号 pp.68-71	
論文	ボランティア学習を効果的なものにするためのヒント	長沼豊	2005年10月1日	教育出版「生活科・総合通信」2005年秋号 pp.1-3	
学会発表	学校をめぐる状況と福祉教育・ボランティア学習推進の課題	長沼豊	2005年11月24日	日本福祉教育・ボランティア学習学会第11回こうべ大会	
論文	保護者・地域社会と一緒に子どもの健全育成に努める	長沼豊	2005年12月1日	教育開発研究所「学校のPDCA」第5巻 pp.159-162	
学術論文	「介護等体験」改革の必要性と方策	長沼豊	2005年12月8日	日本福祉教育・ボランティア学習学会 年報 vol.10(2005)pp.262-273	
論文	学校におけるボランティアコーディネーション	長沼豊	2006年2月予定	日本ボランティアコーディネーター協会編「ボランティアコーディネーター白書2005・2006年版」	
共著	Citizenship Educationと福祉教育	長沼豊	2006年3月予定	ミネルヴァ書房『福祉教育のすすめ』	
学術論文	教職課程科目「特別活動の研究」の学習効果の測定	長沼豊・林幸克	2006年3月予定	日本特別活動学会紀要第14号	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2005.7.20.	長沼豊	ボランティア活動で育つ社会的自立	教育新聞
2006.1.23.	長沼豊	子どもの安全を守るボランティア	週刊「教育資料」

指導教員	内海成治	副指導教員	中村安秀			
氏名	浅野円香	研究室名	国際協力論	学年	MC	1 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会分科会	第7回アジア太平洋地域エイズ国際会議公式プログラム『ユースフォーラム2005 in Kobe報告書』	ユースフォーラム実行委員会(編集浅野・鶴川ほか)	2005年9月1日	the 7th International Congress on AIDS in Asia Pacific		

指導教員	中村安秀	副指導教員	内海成治			
氏名	李 永淑	研究室名	国際協力論	学年	DC	2 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	第9章子どものターミナルケア、コラム病院の子ども憲章(解説)	李永淑・玉井真理子	2006年7月予定	玉井真理子編 子どもの医療と生命倫理、法政大学出版社(印刷中)		
学術論文	小児がん医療現場における遊び活動の課題—医療従事者による学生ボランティアに関する評価調査から—	李永淑・駒田美弘・中村安秀	2005年7月日	小児保健研究、64、4、552-559.		
学会発表	学生ボランティア活動が影響を及ぼした小児がん入院患児の遊びの環境変遷過程の考察	李永淑・駒田美弘・中村安秀	2005年10月8日	第52回日本小児保健学会		
学会発表	病棟内での遊びを通じた小児がん患児の成長と変化	李永淑・駒田美弘・中村安秀	2005年11月26日	第21回日本小児がん学会		

指導教員	中村安秀	副指導教員	内海成治			
氏名	山中 早苗	研究室名	国際協力論	学年	DC	2 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
雑誌	地域における多文化共生保育の取り組み	山中早苗	2005年10月12日	解放教育11月号、.23-30頁		
研究ノート	ベトナムベンチエ省におけるCBR	山中早苗	2006年1月5日	国際保健支援会、3、22-27		
学会発表	ベトナムベンチエ省におけるCBRに対する障害のある子どもの家族とCBRワーカーの認識	山中早苗、 Nguyen Quoc Thoi、板東あけみ、中村安秀	2006年3月4日	日本国際保健医療学会西日本地方会第24回大会論文集(ページ数は現在まだ不明)		

指導教員	中村安秀	副指導教員	内海成治			
氏名	池上清子	研究室名	国際協力	学年	DC 1	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学術論文	「国連機関の調整の問題—特にUNDGとエイズ分野をめぐって」	池上清子	2005年5月1日	「国連研究」第6号。第5章、pp147-167、日本国際連合学会編		
学会発表	「リプロダクティブ・ヘルスと人口問題」	池上清子	2005年5月7日	日本人口学会関東ブロック研究会(東大)		
分担執筆	「リプロダクティブ・ヘルス」	池上清子	2005年7月5日	「小児科臨床」第58号増刊。「国際化する小児保健医療」、pp1377-1386、小児科学会、中村安秀編		
学会発表	「ミレニアム開発目標とHIV/AIDS」	池上清子	2005年9月15日	日本公衆衛生学会(札幌)教育講演		
学会発表	「リプロダクティブ・ヘルスとジェンダーの課題」	池上清子・土屋郁子	2005年12月3日	日本ジェンダー法学会(仙台)全体パネル討論		
分担執筆	「世界各国の性教育の取り組み—オランダの事例」	池上清子	2006年2月20日	人間と性教育研究協議会編、「性教育のあり方、展望」、大月書店、pp 163-169		
学会発表	「水、人口、開発」	池上清子	2006年3月16日	日本水環境学会(仙台)基調講演(予定)		

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2005年10月	池上清子	人脈記、世界の貧しさと戦う⑧	朝日新聞
2006年1月	池上清子	女性の人権守る議論必要	朝日新聞(私の視点)
2006年1月	池上清子	貧困と飢餓をなくせ	山陽新聞
2005年4月	池上清子	東京医科歯科大学倫理委員会メンバー	

指導教員	中村安秀	副指導教員	内海成治			
氏名	北野 尚美	研究室名	国際協力論	学年	DC 1	年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
分担執筆	8か月の子どもが意識障害で搬送された	北野尚美、他	2005年11月10日	シミュレーションで学ぶ救急対応マニュアル1、千代孝夫編、羊土社 Pp.90-100.		
分担執筆	高熱でけいれんしている	北野尚美、他	2006年3月1日	シミュレーションで学ぶ救急対応マニュアル2、千代孝夫編、羊土社 Pp.27-36.		
学術発表	The role of JaSPCAN in Reforming the Child Protection System and Strengthening the Network in Japan.	Nakamura Y, Yanagawa T, Kitano N, Kiruno Y, Okuyama M	2005/11/17日	6th ISPCAN Asian Resional Conference		
学術発表	Construction of the Asian Network for the Prevention of Child Abuse and Neglect -Asian Network Program by the Toyota Foundation-	Yanagawa T, Nakamura Y, Kitano N	2005年11月16日	6th ISPCAN Asian Resional Conference		
講演	児童虐待防止における看護職者の役割	北野尚美	2005年11月11日	日本看護協会教育70「虐待防止と子育て支援」		
講演	子どもの病気のミニ講座—おうちのポイント—	北野尚美	2005年11月26日	田辺市子育て支援セミナー		

<助成金>

年月	申請者	受賞題目	授与団体
2005年2月	北野尚美	和歌山県下における育児支援プログラムに関する研究	和歌山医学振興会
2005年12月	北野尚美	ありだ子どもの虐待を学ぶ会	和歌山医学振興会

指導教員	中村安秀					
氏名	板東あけみ(ベトナムの子ども達を支援する会事務局長)	研究室名	国際協力論	学年	研究生	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	ベトナム山岳少数民族地域における母子保健改善に関する一考察	板東あけみ 中村安秀 佐藤孝宏 Hoang Thi Dung	2005年11月5日	第20回日本国際保健医療学会 プログラム・抄録集 P1-35 101ページ		

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2006年8月5日	ベトナムの子ども達を支援する会	(見だし)ベンチエ省人民委員会副主席ボタンハオ氏は日本の「ベトナムの子どもたちを支援する会」を歓迎 (内容)会への人民委員会の歓迎と過去並びに今回の訪問団の活動や寄付状況の紹介	ベトナム ベンチエ省ドンコイ新聞
2006年8月7日	ベトナムの子ども達を支援する会 板東あけみ	(見だし)「ベトナムの子どもたちを支援する会」ベンチエ省の多くの切実な課題を支援 (内容)1990年会がベンチエ省を支援し始めたいきさつと、それ以降の会の貢献についての紹介と今回の医療団の活動紹介	ベトナム ベンチエ省ドンコイ新聞

指導教員	渥美公秀	副指導教員	堤 修三			
氏名	諏訪晃一	研究室名	地域共生論	学年	DC	3 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学術論文	教育コミュニティづくりと原風景:大阪府田尻町における地域教育協議会の事例から	諏訪晃一・渥美公秀・中村有美・山口悦子	2006年3月	国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要 第6号 (印刷中)		
大学・研究所等報告	大阪府における地域教育協議会の現状と展望:大阪府内の2校区の事例とアメリカNNPSの動向を踏まえて	諏訪晃一	2006年3月	CHAT Technical Reports, vol. 4「コミュニティ教育の展開のためのネットワークの創造と人材開発」関西大学人間活動理論研究センター (印刷中)		
大学・研究所等報告	大学発の災害ボランティア活動の記録:新潟県中越地震におけるfromHUSの活動	諏訪晃一・渥美公秀	2006年3月	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 第31号 (印刷中)		
学術論文	学生による災害時のボランティア活動と状況的関心:新潟県中越地震におけるfromHUSの活動から	諏訪晃一・渥美公秀・関嘉寛	2006年2月28日	ボランティア学研究 第6号 (印刷中)		
学会発表	教育コミュニティへの参加のあり方(1):問題の所在	諏訪晃一・渥美公秀・中村有美	2006年2月18日	国際ボランティア学会第7回大会(文教大学越谷キャンパス)		
大学・研究所等報告	「相互教授」に関する研究ノート	諏訪晃一	2005年11月1日	Σ υ υ: ボランティア人間科学紀要. 6. 97-106.		
学会発表	Preliminary study about the relationship between disaster prevention and collaboration among schools and local communities.	Suwa, K. and Atsumi, T.	2005年4月4日	The 6th Conference of the Asian Association of Social Psychology. In Wellington.		

指導教員	渥美公秀	副指導教員	堤 修三			
氏名	松原 崇	研究室名	地域共生論	学年	DC	1 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学会発表	Encounters with Otherness: A Case of "Workshop of Campus Recheck"	Matsubara, T. & Atsumi, T.	2005年4月3日	The 6th Asian Association of Social Psychology, Wellington.		
学会発表	現実変容のツールとしての地図作り:大学のアクセスマップ作りの事例から	松原崇・渥美公秀	2005年11月19日	関西心理学会第6大会第117回大会発表論文集, p.64		

指導教員	渥美公秀	副指導教員	堤 修三		
氏名	中村 有美	研究室名	共生社会論	学年	MC 2 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
学会発表	An inquiry into making a place for truant children	Nakamura, Y. Atsumi, T.	2005年4月1日	Asian Association of Social Psychology in Wellington, New Zealand	
学会発表	子どもを育むコミュニティの役割ー不登校の子どもと親を支援するフリースクールの事例からー	中村有美・渥美公秀	2006年2月18日	国際ボランティア学会第七回大会	
学術論文	学校と家庭と地域の協働による教育コミュニティの活性化ー縄手南中学校区校外指導協議会の事例より	中村有美・渥美公秀・諏訪晃一・山口悦子	2006年2月28日	ボランティア学研究vol.6(印刷中)	

指導教員	渥美公秀	副指導教員	堤 修三		
氏名	高野尚子	研究室名	共生社会論	学年	MC 2 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
学会発表	阪神・淡路大震災の伝承に関する一考察(2)	高野尚子・渥美公秀	2006年2月18日	国際ボランティア学会第7回大会論文集, 24,25	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2005年10月	高野尚子	「震災の語り部」聞き手にどう伝わる?	神戸新聞

指導教員	齊藤弥生	副指導教員	堤 修三		
氏名	吉岡洋子	研究室名	比較福祉論	学年	DC 2 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	
分担執筆	第9章「諸外国にみる高齢者福祉の新しい動向」(うち、吉岡は第1節スウェーデン)	齊藤弥生・吉岡洋子	2005年4月15日	黒田研二・清水弥生・佐瀬美恵子編著『高齢者福祉概説』明石書店 pp.249-290	
学術論文(実践研究報告)	介護サービス供給における地域密着型事業者の現状と可能性	吉岡洋子	(2006年3月予定)	『日本の地域福祉』第19号(※受理済校正中)	
学術論文	福祉分野における規制緩和と地域福祉	吉岡洋子	(2006年3月31日予定)	『地域福祉研究』No.33(※採用通知受取済)	
大学・研究所等報告	政府報告書にみるスウェーデンのNPO	吉岡洋子	2005年11月1日	『ボランティア人間科学紀要Syn』(大阪大学大学院人間科学研究科ボランティア人間科学科学講座紀要)第6号 pp.107-116	
学会発表	福祉サービス供給におけるパートナーシップの研究	吉岡洋子	2005年6月4日	日本地域福祉学会第19回大会論文集 pp.185	
学会発表	福祉サービスの新たな供給主体に関する研究	齊藤弥生・吉岡洋子	2005年6月4日	日本地域福祉学会第19回大会論文集 pp.179	
翻訳	(右記資料集の全章)	吉岡洋子	(2006年3月予定)	井岡勉監修「スウェーデン・ヴィンデルンコミュニティ翻訳資料集(平成17年度科学研究費補助金報告書)」(※校正中)	

指導教員	齊藤 弥生	副指導教員	堤 修三			
氏名	山口 幸	研究室名	比較福祉論	学年	DC	2 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名		
学術論文	認知症高齢者グループホームの多機能化の効果に関する研究	山口 幸	2005年11月20日	認知症ケア学会誌、4,3,488-495		
学術論文	認知症高齢者介護におけるグループホームケアの効果に関する実証的研究	山口 幸	2005年11月30日	社会福祉学、46,2,100-111		
学術論文	ユニットケア導入が認知症高齢者にもたらす効果に関する研究	山口 幸		社会福祉学、46,3 (印刷中)		
実践報告	新しい高齢者施設のあり方を求めて	山口 幸	2005年11月26日	日本福祉文化学会新潟大会		
講演	これからの認知症高齢者ケア	山口 幸	2005年8月18日	神戸いのちの電話公開講座		
パネリスト	グループホーム現在・過去・未来	山口 幸	2005年10月15日	笠岡グループホーム国際サミット		
講演	これからの認知症高齢者ケア	山口 幸	2005年10月18日	生活創造大学		
講演	これからの認知症高齢者ケア	山口 幸	2005年10月21日	介護リフレッシュ教室(摩耶地域福祉センター)		

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2005年9月	山口 幸	「認知症高齢者ハワイへ！」	キリスト新聞